

# 視聴問題例 1 : 国語総合 (ラジオ放送)

	平成二十九年年度	国語総合	H R	番号	氏名	評価
④	第一回報告課題 『児のそら寝』					
④	視聴問題					

  

④ NHK 高校講座「ライブラリー 国語総合」『児のそら寝』(1)「」を聴いて、次の設問に答えなさい。放送の内容を正しく理解しなさい。放送の開始時刻が不明な場合は、次の設問に答えなさい。放送の内容を正しく理解しなさい。約20分間の放送となります。

※ パソコンやスマートフォンで繰り返し再生して聴くことができます。パソコン、スマホがない人は放課後に学校のコンピュータ教室で放送を聴きましよう。

問一 次の文の「」に適語を入れなさい。 [2点]

『児のそら寝』は、「宇治拾遺物語」の中にあるお話です。「宇治拾遺物語」は説話集というジャンルの本です。説話とは簡単にいうと「」です。最近だと都市伝説ともいうような話です。 [4点]

問二 本文の冒頭部分(はじめの部分)、「これも今は昔」とは、現代語に訳すとどのような意味が次の中から選び、記号で答えなさい。 [1点]

④ A この話も今か昔かわからない話だが [4点]

④ B この話も今となつては昔の話だが [4点]

④ C この話も昔ではなくて今の話だが [4点]

問三 「児」についての説明でもっともふさわしいものを選び記号で答えなさい。 [1点]

④ A 寺の近所に住んでいて、夜になると集まってくる子ども [4点]

④ B 甘い物やごちそうを食べることを禁じられている子ども [4点]

④ C 学問や行儀見習いのために寺に預けられている子ども [4点]

問四 次の文の「」に適語を入れなさい。 [2点]

古文では書いてある平仮名とちがった発音をしているところがあります。語の途中や語の最後にある「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「」と読むルールもあります。語の途中や語の最後にある「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「」と読むルールもあります。 [4点]

問五 「ぼたちち」についてわかったことをまとめなさい。 [4点]

## 【視聴問題の作成にあたって】

### (1) 報告課題内の視聴問題のバランスはどうしていますか？

- ・ 100点満点中10点を配点。

### (2) 視聴問題は、語句や解、選択式、自由記述など、どのように作成していますか？

- ・ 穴埋め、選択式、自由記述など、数種類の問題を取り入れています。

### (3) 難易度はどのくらいに設定していますか？

- ・ 集中してよく聴けば正解できる問題を心がけています。集中してよく聴く、内容を理解してまとめる、という点では難しいと感じる場合もあるかも。

### (4) 放送内の視聴すべき時間のタイミングに工夫はしていますか？

- ・ 放送の前半、中盤、後半からなるべくバランスよく出題するよう心がけています。

### (5) 作成のポイントはありますか？

- ・ 重要な部分、面接指導の中で扱えなかった部分、豆知識として関心を持ってそうな部分に重点を置いています。

### (6) どのような学習効果を狙っていますか？

- ・ 面接指導の振り返り・復習、補足、豆知識の習得などです。
- ・ 空いた時間に自らメディアを活用して知識を習得しようとする習慣が身につくよう工夫しています。

### (7) 他の問題と比較して、視聴問題はどんな役割がありますか？

- ・ 目で見て、読んで調べる、という活動と、音声で聴いて理解する、という活動とでメリハリが付き意欲が喚起できると思われます。